

図画工作科学習指導案

指導者 大井 一徳

1 学 年 第6学年1組 男子11名 女子10名 計21名

2 題材名 「芸術家の心にふれて ～大事な人に絵のプレゼント～」 B鑑賞

3 題材について

(児童の実態)

- ・アンケートの結果，約8割の児童が我が国や諸外国の美術作品に興味があると答えていた。しかし，よさや美しさを造形的な特徴でとらえ，感じ取るまでには至っていない。
- ・感じたことや思ったことを話したり，友人と話し合ったりする活動に対して肯定的な反応をする児童が多い。

魅力ある題材

(題材について)

- ・一人一人のお気に入りの名画を選ばせることで，意欲を高めることができる。
- ・名画の表現の意図や特徴を見付けたり，画家の表し方を実際に試したりしながら，鑑賞する際の具体的な視点をもつことができる。
- ・「大事な人に絵をプレゼントしよう」と相手意識をもたせることで，鑑賞を通して喚起された意欲を，表現の工夫につなげることができる。

認め合い 学び合い

(指導に当たって)

- ・感じ取ったよさや美しさを話し合わせることで，認め合いや学び合いを促す。その際，お互いの見方や感じ方がよく伝わるように絵を大きくスクリーンに映すなどの工夫を行う。
- ・名画のテーマ，色使い，線や形，筆使いなどの造形的な特徴に気付かせ，絵で表す時の参考にさせる。

親しみのある作品から，よさや美しさを感じ取ることができる子

つくりだす喜び ひびき合う楽しさ

4 題材の目標

造形への 関心・意欲・態度	気に入った画家の表し方を自分の作品に進んで取り入れようとする。
発想や構想の能力	名画のよさや美しさから，自分らしいテーマや表し方を考えることができる。
創造的な技能	表したいものの感じがよく表れるように，絵の具や他の描画材料の扱いを工夫することができる。
鑑賞の能力	造形的な特徴をとらえて，名画のよさや美しさを感じ取ることができる。

5 題材の評価規準

ア 関心・意欲・態度	イ 発想や構想の能力	ウ 創造的な技能	エ 鑑賞の能力
○気に入った画家の表し方を自分の作品に進んで取り入れようとする。	○名画のよさや美しさから，自分らしいテーマや表し方を考えている。	○表したいものの感じがよく表れるように，絵の具やほかの描画材料の扱いを工夫している。	○造形的な特徴をとらえて名画のよさや美しさを感じ取っている。

6 指導と評価の計画（全6時間）

次	学 習 内 容（時数）	評 価					
		関	発	創	鑑	評価規準	評価方法
第一次	1 名画の画集を見ながら，テーマ，色使い，線や形，筆使いなど，気に入ったところを探す。（1）	○				関）名画を見ることに関心を示し，気に入った画家の表し方を自分の作品に進んで取り入れようとする。	行動観察 ワークシート
第二次	2 テーマ，色使い，線や形，筆使いなどを手がかりに，名画について感じたことや思ったことを伝え合い，よさや美しさを感じ取る。（1）本時				○	鑑）造形的な特徴をとらえて名画のよさや美しさを感じ取っている。	行動観察 ワークシート
第三次	3 名画の要素を取り込んで自分らしく表現するための用具や表現方法を決める。（1）		○			発）名画のよさや美しさから，自分らしいテーマや表し方を考えている。	行動観察 児童作品
	4 自分の表現方法をさらに深めたり，新たに気付いた名画の特性も取り入れたりして，工夫して自分の絵に表す。最後に，お互いの作品を鑑賞する。（3）			○		創）表したいものの感じがよく表れるように，絵の具やほかの描画材料の扱いを工夫している。	行動観察 児童作品

7 本時の目標

お気に入りの名画について感じたことや思ったことを伝え合い，造形的な特徴をとらえてよさや美しさを感じ取ることができる。

<鑑賞(1)ア・イ>

8 本時の展開 指導すべき点(しっかり) 思考力(じっくり) ■発信力(はっきり)

学習活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
1 本時の学習内容の把握 ○名画について感じたことや思ったことを伝え合い，よさや美しさを感じ取るというねらいをもつ。 ○本時のめあてを確認する。	・最初に教師がお気に入りの名画のよさや美しさを話し，伝え合う意欲を高めさせる。 ・自分の選んだ名画について，感じたことや思ったことをワークシートに書かせておき，自信をもって伝えることができるようにしておく。	
お気に入りの名画について感じたことや思ったことを伝え合い，それぞれの名画のよさや美しさを感じ取ろう。		
2 伝え合う活動 ○お気に入りの名画について，感じたことや思ったことを伝え合う。	■お気に入りの名画について，感じたことや思ったことを伝え合わせる。 ・名画のテーマ，色使い，線や形，筆使いなど，児童がよさや美しさと感じている造形的な特徴を整理する。 ・児童が伝えたい名画のよさや美しさがよく伝わるように，話している部分をスクリーンに大きく映し出すなどの支援を行う。	〔共通事項〕 テーマ，色使い，線や形，筆使いなどの造形的な特徴に注目させる。 <鑑賞の能力> 造形的な特徴をとらえて名画のよさや美しさを感じ取っている。 (発言内容，ワークシート)
3 認め合いと学び合い ○友人の気付きをふまえ，新たな視点で名画のよさや美しさを考える。	名画のよさや美しさを，造形的な特徴をとらえて感じ取っていたことを確認し，名画を鑑賞する時の新たな視点をもたせる。 友人の視点を参考にし，お互いが選んだ名画のよさや美しさを考えさせる。 ・友人の気付きを大切にする雰囲気をつくり，認め合いや学び合いを促す。	
4 本時のまとめ ○学習を振り返る。	・名画のよさや美しさを感じ取ったことについて，ワークシートに自己評価させる。 ・今回の鑑賞を肯定的に評価し，表現への意欲を喚起させる。	